

## 平成21年5月期 第3四半期決算短信

平成21年4月3日

上場取引所 大

上場会社名 前田金属工業

コード番号 5967 URL <http://www.tonetool.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 原田 稔

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 長田 允孝

TEL 06-6976-5561

四半期報告書提出予定日 平成21年4月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年5月期第3四半期の連結業績(平成20年6月1日～平成21年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第3四半期	2,937	—	339	—	127	—	△669	—
20年5月期第3四半期	3,396	2.5	417	△0.2	402	△22.6	78	△68.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第3四半期	△68.37	—
20年5月期第3四半期	8.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年5月期第3四半期	5,198		1,101		21.2	112.52
20年5月期	5,758		1,871		32.5	191.06

(参考) 自己資本 21年5月期第3四半期 1,101百万円 20年5月期 1,871百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年5月期	—	8.00	—	10.00	18.00
21年5月期	—	4.00	—	—	—
21年5月期 (予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成21年5月期の連結業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△16.3	490	△28.9	220	△72.5	△475	—	△48.50

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年5月期第3四半期 11,713,000株 20年5月期 11,713,000株

② 期末自己株式数 21年5月期第3四半期 1,924,221株 20年5月期 1,915,225株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年5月期第3四半期 9,795,530株 20年5月期第3四半期 9,807,594株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的金融危機の影響が实体经济に波及したことから、企業収益の大幅な減少、雇用への先行き不安や個人消費の落ち込みなど景気は急速に悪化してまいりました。

このような状況のもと、当社グループは、「ボルト締結分野」での競争優位性を高めるべく、市場育成型製品群の開発・投入、生産体質の見直しによるコスト競争力の強化、国内販売体系の刷新による営業体制の強化や提案型営業の推進に加え、海外では新興国など新規市場への販路開拓等を積極的に推進してまいりました。

しかしながら、順調に推移しておりました輸出や、国内市場における作業工具類及び機器類の販売も大幅な需要減退などからともに落ち込んだことにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は作業工具類が18億1千6百万円、機器類が11億2千1百万円の計29億3千7百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少傾向に加え、依然として高水準にある素材仕入価格の影響もありましたものの、製造コストの低減、諸経費削減等の諸施策により収益向上に鋭意努力いたしました結果、営業利益は3億3千9百万円（前年同期比18.7%減）となりましたが、経常利益は有価証券運用損2億3千8百万円を計上したことなどにより、1億2千7百万円（前年同期比68.3%減）となり、さらに投資有価証券評価損7億1千5百万円を特別損失に計上した結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、6億6千9百万円の四半期純損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、51億9千8百万円となり前連結会計年度末に比べ5億5千9百万円減少しました。この主な要因は、流動資産においては受取手形及び売掛金の減少4億2千3百万円、たな卸資産の増加2億3百万円等によるものであり、固定資産においては、投資有価証券の減少4億1千5百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は、40億9千7百万円となり前連結会計年度末に比べ2億1千1百万円増加しました。この主な要因は、流動負債においては支払手形及び買掛金の減少2億2千3百万円、短期借入金の増加7億4千7百万円、未払法人税等の減少2億5千7百万円等によるものであり、固定負債においては退職給付引当金の減少8千6百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、11億1百万円となり前連結会計年度末に比べ7億7千万円減少しました。この主な要因は、四半期純損失の計上及び配当金の支払による利益剰余金の減少8億6百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千1百万円の減少となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況のそれぞれの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、減価償却費6千万円、売上債権の減少4億2千3百万円等による資金の増加がありましたが、たな卸資産の増加2億3百万円、仕入債務の減少2億2千3百万円、法人税等の支払2億6千8百万円等により、資金はマイナス5千9百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、投資有価証券の売却により1億6千9百万円の収入を得ましたが、投資有価証券の取得に7億1千3百万円、有形・無形固定資産の取得に3千3百万円等を支出したことにより資金はマイナス5億5千万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、短期借入金の純増7億5千万円、長期借入れにより2億5千万円の収入を得ましたが、長期借入金の返済に2億7千1百万円、配当金の支払に1億2千7百万円等を支出したことにより資金はプラス5億9千9百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における業績及び今後の見通しを勘案し、前回予想（平成20年12月26日）より通期予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、平成21年4月3日公表の「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において算定した貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### ②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部の棚卸資産について実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

##### ③税金費用の計算

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、主として移動平均法による原価法から、主として移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

#### (追加情報)

##### 有形固定資産の耐用年数の変更

当社の機械装置については、従来、耐用年数を12年としておりましたが、法人税法の改正により法定耐用年数の見直しが行われたことに伴い、第1四半期連結会計期間より10年に変更しました。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	342,021	353,089
受取手形及び売掛金	869,119	1,292,595
商品	436,146	369,827
製品	716,088	596,020
原材料	310,382	316,492
仕掛品	331,409	301,387
貯蔵品	27,130	34,182
その他	231,196	99,815
貸倒引当金	△3,730	△5,609
流動資産合計	3,259,764	3,357,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	140,887	151,091
機械装置及び運搬具（純額）	128,602	154,617
工具、器具及び備品（純額）	48,710	59,680
土地	308,186	308,186
建設仮勘定	1,871	—
有形固定資産合計	628,257	673,576
無形固定資産	11,004	13,150
投資その他の資産		
投資有価証券	1,254,858	1,670,626
その他	46,456	46,202
貸倒引当金	△1,501	△3,072
投資その他の資産合計	1,299,813	1,713,756
固定資産合計	1,939,075	2,400,483
資産合計	5,198,840	5,758,285

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567,722	791,168
短期借入金	2,419,504	1,671,696
未払法人税等	9,918	267,793
賞与引当金	33,239	81,593
未払金	71,877	163,492
未払費用	28,401	35,541
その他	284,809	38,417
流動負債合計	3,415,473	3,049,702
固定負債		
長期借入金	228,233	247,747
長期末払金	91,291	90,940
退職給付引当金	327,357	413,635
その他	35,093	84,290
固定負債合計	681,975	836,614
負債合計	4,097,449	3,886,316
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	962,545	1,769,390
自己株式	△507,281	△505,190
株主資本合計	1,223,644	2,032,580
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△122,253	△160,611
評価・換算差額等合計	△122,253	△160,611
純資産合計	1,101,391	1,871,968
負債純資産合計	5,198,840	5,758,285

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)
売上高	2,937,879
売上原価	1,755,760
売上総利益	1,182,119
販売費及び一般管理費	842,704
営業利益	339,415
営業外収益	
受取利息	3,752
受取配当金	25,593
投資有価証券売却益	8,326
その他	7,228
営業外収益合計	44,902
営業外費用	
支払利息	16,057
有価証券運用損	238,022
その他	2,913
営業外費用合計	256,993
経常利益	127,324
特別損失	
投資有価証券評価損	715,161
特別損失合計	715,161
税金等調整前四半期純損失(△)	△587,837
法人税、住民税及び事業税	81,849
四半期純損失(△)	△669,687

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成21年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△587,837
減価償却費	60,147
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,450
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△86,278
賞与引当金の増減額(△は減少)	△48,353
受取利息及び受取配当金	△29,346
支払利息	16,057
有価証券売却損益(△は益)	229,695
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	1,899
投資有価証券評価損益(△は益)	715,161
売上債権の増減額(△は増加)	423,476
たな卸資産の増減額(△は増加)	△203,246
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,761
仕入債務の増減額(△は減少)	△223,445
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,570
その他	△50,036
小計	196,110
利息及び配当金の受取額	28,825
利息の支払額	△16,093
法人税等の支払額	△268,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	△59,850
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△33,216
投資有価証券の取得による支出	△713,237
投資有価証券の売却による収入	169,075
差金決済による収支(純額)	28,786
その他	△1,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△550,416
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	750,000
長期借入れによる収入	250,000
長期借入金の返済による支出	△271,706
配当金の支払額	△127,004
自己株式の純増減額(△は増加)	△2,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	599,198
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,067
現金及び現金同等物の期首残高	353,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	342,021



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当連結グループは、作業工具・機器の製造・販売のみを行っている単一セグメントに該当いたしますので、記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)

	東アジア	欧州	北中米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	226,433	24,947	281,337	113,280	645,998
II 連結売上高(千円)					2,937,879
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.7	0.8	9.6	3.9	22.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア…韓国・中国・台湾

(2) 欧州……イギリス・フランス

(3) 北中米……アメリカ・カナダ

(4) その他……タイ・シンガポール・チリ・インドネシア・インド・マレーシア・中近東

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	605,000	163,380	1,769,390	△505,190	2,032,580
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△137,157		△137,157
四半期純損失			△669,687		△669,687
自己株式の取得				△2,090	△2,090
当第3四半期連結会計期間末までの 変動額合計	—	—	△806,844	△2,090	△808,935
当第3四半期連結会計期間末残高	605,000	163,380	962,545	△507,281	1,223,644

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年6月1日 至 平成20年2月29日)		百分比 (%)
	金額(千円)		
I 売上高		3,396,609	100.0
II 売上原価		1,987,418	58.5
売上総利益		1,409,190	41.5
III 販売費及び一般管理費		991,645	29.2
営業利益		417,545	12.3
IV 営業外収益			
1 受取利息及び配当金	23,997		
2 その他	5,558	29,556	0.8
V 営業外費用			
1 支払利息	15,459		
2 有価証券売却損	27,164		
3 その他	2,212	44,835	1.3
経常利益		402,266	11.8
VI 特別損失			
1 投資有価証券評価損	130,811		
2 役員退職慰労金	36,457	167,268	4.9
税金等調整前四半期純利益		234,997	6.9
税金費用		156,048	4.6
四半期純利益		78,949	2.3